

平成二十七年 度

文責 上村公之

玉東中学校便り

【共に学び、共に感動を】

第五号

平成二十七年七月十三日

七月四・五日に「玉名荒尾中体連大会」が開催されました。中体連は、県大会・九州大会・全国大会につながる運動系の部活動に所属している生徒にとっては、最高の目標であり最大の大会です。また三年生にとっては、負けたら引退となる最後の大会でもあります。毎年、中体連大会ではドラマが生まれます。今年も、最後まであきらめず必死に頑張る生徒たちは、たくさんのドラマをつくってくれました。そして、その姿はまばゆいばかりに輝いていました。本校は小規模校ではありますが、大健闘だったと思います。残念ながら悔し涙を流した生徒も、ぜひこの経験を、これからの部活動や学校生活に生かして欲しいと願っています。

以下、見事に地区大会を勝ち抜いて、県大会に出場する団体と個人を紹介します。

《団体》

女子剣道部 男・女バドミントン部

《個人》

【バドミントン部】

- ・男子ダブルス 高木凱登・松村純哉
- ・女子ダブルス 上田萌絵・古賤蘭奈
- ・女子シングルス 大城戸育実・境綾乃

今村朱里



【剣道部】

- ・一年男子 中尾大輝・坂田将太
- ・二年男子 宮崎 翔

【柔道部】

- ・女子中量級 永山穂乃歌
- ・女子重量級 西住香澄

【空手道】

- ・男子（組手）（形）境 秀斗

【新体操】

- ・畠山優花

以上、三つの団体と十四名の個人が、七月二十五・二十六日に阿蘇方面で開催される県大会に出場します。次は、九州大会を目指して、最高のコンディションで試合に臨んで欲しいと思います。また、七月二十二日には、熊本県吹奏楽コンクールが県立劇場で開催されます。今、部員はコンクールに向け、一生懸命練習に励んでいます。きっと素晴らしい演奏をしてくれると期待しています。



各家庭で電子機器の 使い方のルール作りを

今、電子機器（スマートフォンやタブレットなど）の不適切な使用が、学校現場でも大きな問題となっています。そこで、昨年度に引き続き今年度も使用状況をつかむため全校生徒にアンケートを実施しました。その結果をいくつか紹介します。

- ・九割の生徒がインターネットにつながる機器を日常的に使用している。（昨年度は八割未満）
- ・フィルタリング（使用制限）をかけている生徒

はわずか三割である。

四割の生徒が家庭で一日平均十一回以上メールやラインをしている。（五十回以上は約二割）十七名の生徒がインターネット上で知り合い、その後、何度かやりとりをしている。（内五人は、知り合った人と実際に会っている。）

今回の調査で、昨年度よりも所持率が高くなり、使用頻度も増しており、ネット上で知り合った人と実際に会うなど、生徒の電子機器の使用に対する認識の甘さが明らかになりました。



しかし、この電子機器を生徒に買い与えているのは保護者です。したがって、フィルタリングをかけるとか、使用状況を点検するなど、生徒が犯罪に巻き込まれることがないよう保護者の方々にもっと危機意識を持つて欲しいと思いました。そこで、七月十一日に開催した授業参観時に、保護者説明会を開き、調査結果を伝えました。

また、当日は生徒会が「情報もらるゝる（玉東中の使用ルール）」を発表し、各家庭で電子機器の使い方を話し合い、ルールを作っていたり、よろしくお願いいたします。保護者の皆様のご理解をよろしく願います。

連絡

- 八月の十三日（木）・十四（金）は学校を閉庁します。急用の方は、町教育委員会【八五―三六〇九】へ連絡してください。
- 八月二十二日（土）午前六時半より資源回収、七時より除草作業を行いますので、ご協力をお願いします。